

くすりのしおり

外用剤

2024年12月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：タフルプロスト点眼液 0.0015% 「わかもと」

主成分：タフルプロスト (Tafluprost)

剤形：無色澄明の点眼剤、2.5mL、(キャップ) 青緑色

シート記載など：



この薬の作用と効果について

プロスタノイドFP受容体を刺激することによって房水の流出を促進し、眼圧を下げます。通常、緑内障、高眼圧症の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。無水晶体眼または眼内レンズ挿入眼である。気管支喘息またはその既往歴、眼内炎（虹彩炎、ぶどう膜炎）がある。コンタクトレンズを使っている。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、1回1滴を1日1回点眼します。必ず指示された使用方法に従ってください。
- ・容器の先端が直接目に触れないようにしてください。
- ・点眼後は、しばらく（1～5分間）まばたきをしないで目をつぶってください。
- ・点眼した時に液がまぶたなどについた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・他の目薬と併用するときは、少なくとも5分以上の間隔をあけて点眼してください。
- ・ソフトコンタクトレンズをつけている場合には、レンズを外してから点眼し、5～10分以上経過してからレンズをつけてください。
- ・点眼し忘れた場合は、その日のうちであれば、すぐに1回分を点眼してください。翌日に気づいた場合には、前日の分は点眼せず、通常どおり1回1滴を1日1回点眼してください。1日に2回点眼したり、1回に2滴点眼してはいけません。
- ・誤って多く使用した場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、点眼するのを止めないでください。

生活上の注意

- ・点眼後、一時的に目がかすむことがありますので、症状が回復するまでは、機械類の操作や自動車などの運転は行わないでください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、結膜充血、まつげの異常（まつげが長く、太く、多くなるなど）、眼のかゆみ、眼刺激、眼の異物感、眼瞼色素沈着（眼の周りが黒ずむ）、角膜上皮障害（しみる、眼痛）、眼の異常感（違和感、ねばつき感、乾燥感）などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・黒目（虹彩）の色が濃くなる [虹彩色素沈着]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・この薬は5mL用点眼容器に2.5mL入っていますので、液の量が少なく見えます。
- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・開封後1ヵ月が経過し、薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。